

酷暑や干ばつ対策に新商品

夏の酷暑や干ばつによる農産物の生育被害が年々深刻化している。農業資材開発メーカーのアライドカーボンソリューションズ(沼津市)は、循環型農業への活用が期待される低環境負荷の農業資材「バイオステイミュラント製品」の開発を通じて、課題解決の道を探っている。

「バイオステイミュラント製品」水分蒸散抑える



アライドカーボンソリューションズが開発したバイオステイミュラント製品
＝3月上旬、沼津市

同社は微生物由来の機能性物質に着目し、従来の肥料や農薬とは異なるアプローチで植物の生理機能に働きかける資材の研究を進めてきた。県農林技術研究センターと共同でこのほど、植物の耐乾燥性を高める天然由来の界面活性剤ソホロリピッドを活用した新商品「ACS Sopher」の開発にこぎつけた。

新商品は、散布することで根に刺激を与え、植物の気孔を一時的に抑制して水分の蒸散を抑える。通常、植物は乾燥すると枯死するが、同資材を施用した植物は再給水すれば回復するという。乾燥耐性が高まることで、干ばつや小雨の環境下でも安定した収量や品質向上が見込まれる。研究成果は特許を取得した。同社で開発を担当した李秋実研究員(36)は新商品について「乾燥条件下でも植物の生育が維持され、後に回復するというのはこれまでの農業の常識を覆す発見」と強調する。効果的な施用方法として、ポット苗や育苗セルトレイ、芝マット運搬時の乾燥予防▽収穫

沼津のメーカーが開発



前の急激な過湿や乾燥によるストレスの軽減▽トマトやメロンの糖度凝縮ーなどを図る考えだ。

を挙げる。佐久間康行営業部長(39)は「異常気象による干ばつは世界的な課題」とし、幅広い作物への効果を検証しながら国内外での販路拡大を図る考えだ。(経済部・垣内健吾)

